

グリーンローン・フレームワーク

発行体/借入人：東京水産ターミナル株式会社

調達資金の使途	
グリーンローンの投資対象となる 適格クライテリア	<p>グリーンローンで調達された資金は、以下の適格クライテリアを満たす、グリーンビルディングの開発資金等、もしくはこれらの資金のリファイナンスに充当する予定。</p> <p><適格クライテリア></p> <p>資金使途となる新冷蔵倉庫建設プロジェクトは以下の要件を充足するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none">グリーンビルディング 下記の第三者認証機関の認証を取得済みもしくは今後取得予定の物件 DBJ Green Building 認証（3つ星～5つ星）エネルギー効率 高効率な冷凍冷蔵設備（従来比 30%程度の省エネルギー性能があるもの）
長期ビジョンにたったグリーン投資 方針	<p>当社は、行動指針において環境保全に積極的に取り組むことを掲げ、電力エネルギーに依存している冷蔵倉庫業界の責務を果たすべく、積極的な節電対策やテナントと連携した冷蔵倉庫全体における省エネに取り組んでいる。加えて、構内の施設を利用する会社及び当社で組織される大井水産埠頭会に設置している省エネ委員会において、国の法律や都の条例により定められたエネルギー削減や環境保全に係る義務履行・目標の達成のための施策を推進すべく、CO2 削減や適正な貨物保管等の諸問題について討議を行っており、エリア全体で環境問題に取り組むとともに、一人ひとりの省エネ意識の醸成・向上に取り組んでいる。</p>
資金の調達方法と投資先	<ul style="list-style-type: none">調達方法：長期借入金（シンジケートローン）投資先：適格クライテリアを満たす開発資金等

プロジェクトの選定基準とプロセス

<p>プロジェクトの選定プロセス</p>	<p>1. プロジェクト選定関与者</p> <p>調達資金の使途となるプロジェクトは、当社新冷蔵倉庫建設推進部長、施設部、経理部、総務部、業務部の担当者により、適格クライテリアに定める条件を満たすものであり、環境改善に資する案件であること、関連法規を遵守した開発・工事が可能であること等が検討され、評価および選定が行われる。毎週開催の幹部会及び新倉庫プロジェクト会において報告、審議を行っている。</p> <p>2. プロジェクト選定プロセス</p> <p>対象となるプロジェクトを資金使途としてグリーンローンによる資金調達を行うことは、経理部の担当者によって起案され、新冷蔵倉庫建設推進部、施設部、経理部、総務部、業務部合議の上、最終決裁者を代表取締役社長とする社内稟議によって承認される。</p>
<p>グリーンプロジェクトが環境に与えるネガティブな影響とその対処方法</p>	<p>1. 想定されるリスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵冷凍倉庫建設に伴う環境へのネガティブインパクト（工事に伴う騒音・振動、大規模な土地造成に伴う生態系への悪影響、稼働による騒音・振動・大気汚染等） ・物件の瑕疵 ・建物排熱によるヒートアイランド化 ・太陽光パネルによる景観への悪影響 ・機器の製造過程による化石燃料への依存 <p>2. リスク緩和対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種環境関連法令を遵守し、必要に応じて環境への影響調査を実施 ・脱炭素化を目指す製造業者の機器を導入
<p>適格プロジェクトの選定基準およびプロセスの開示方法</p>	<p>プロジェクトの選定基準および選定プロセスに関しては、当社Webサイトにおいて開示予定である。</p>

資金管理の方法	
調達資金の充当計画	グリーンローンで調達した資金は速やかに適格クライテリアを満たすプロジェクトに充当される。
調達資金の追跡管理の方法	<ul style="list-style-type: none"> グリーンローンによる調達資金の充当管理は経理部が実施し、調達資金総額、プロジェクトへの充当額、未充当額を電子ファイルにて管理する。 上記プロセスを行うにあたっては、事前に最終決裁者を経理担当役員とする社内決裁が行われる。
追跡管理に関する内部統制および外部監査	当社は、定期的に外部監査及び内部監査を行っており、また、会計全般については監査法人の外部監査を受けている。なお、3ヵ月毎に取締役会にて資金繰りについて報告を行っている。
未充当資金の管理方法	調達資金の充当が決定されるまでの間は、調達資金は現金または現金同等物にて管理する。

レポートニング	
資金の充当状況に関する開示状況	<ul style="list-style-type: none"> 当社 Web サイト上において、調達資金の充当状況を開示する。 グリーンローン借入時点で未充当資金がある場合、充当計画を当社 Web サイト上において開示する。
インパクト・レポートニングの開示方法及び開示頻度	グリーンローンによる資金調達から全額充当するまでの間、実務上可能な範囲において、当社 Web サイトなどを用いて年に1回程度の頻度で公表する予定。
インパクト・レポートニングにおけるKPI (Key Performance Indicator)	<p>以下の項目について、年次で当社 Web サイトにて報告予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取得したグリーンビルディング認証の種類とランク（未取得の場合は取得手続の進捗状況） 電力使用量 太陽光発電量